

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
令和 7 年 6 月 26 日	
山梨県知事 長崎 幸太郎 殿	
提出者	
〒 400-0118 山梨県甲斐市竜王2476-1 株式会社 新光土木 代表取締役 小沢 和也 TEL 055-276-4521	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 第12条第9項の規定に基づき、令和7年度の産業廃棄物の減量その他、その処理に関する計画を作成したので提出します。	

事業場の名称	株式会社 新光土木
事業場の所在地	山梨県甲斐市竜王2476-1
計画期間	令和 7年 4月 1日 ～ 令和 8年 3月 31日

① 事業の種類	総合工事業 【D06】
② 事業の規模	¥612,000,000- ※前年度完成高
③ 従業員数	18人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	発生源 廃棄物 運搬 処分・処理 (各作業所) 構造物取壊 → Co殻など → 委託業者 又は 自社運搬 → 中間処理施設

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・別紙－１のとおり

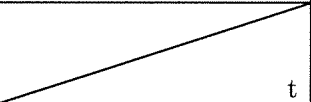
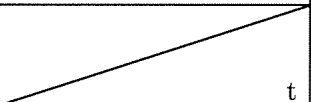
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	—
	排出量	2,368.177t	t
	(これまでに実施した取り組み) ・発生量抑制を考慮した施工管理を検討する。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	—
	排出量	1,657.72t	t
	・土木工事における廃棄物は、工事内容等により左右されるので発生量が大きく増減する。よって、前年度の発生量の70%を今年度の目標とする。		

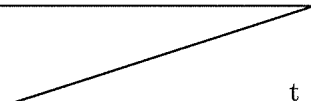
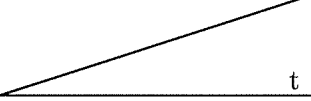
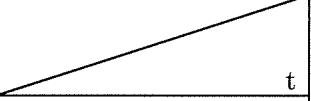
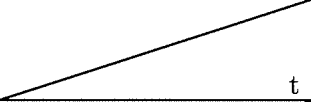
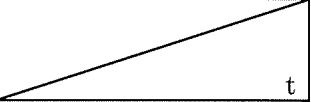
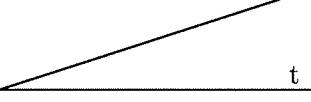
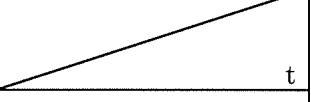
産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) ・建設混合廃棄物はできる限り可燃／不燃に分別する。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取り組み) ・建設混合廃棄物はできる限り可燃／不燃に分別する。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

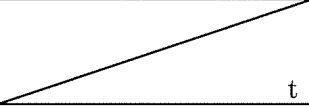
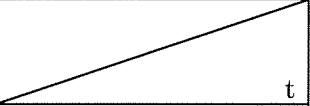
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量		
	(これまでに実施した取り組み) ・再生施設を所有していないため該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら再生利用をう産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取り組み) ・再生施設を所有していないため該当なし		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

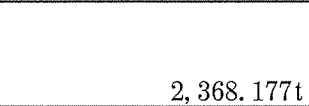
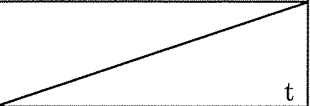
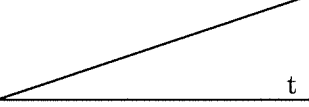
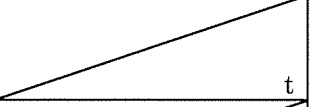
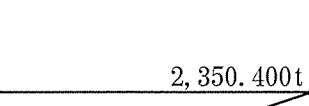
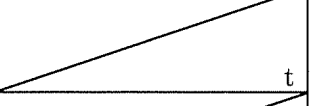
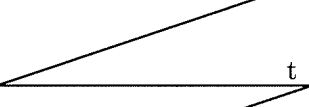
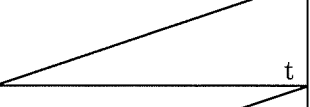
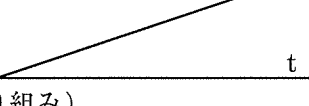
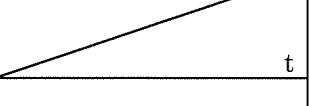
①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量		
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量		
	(今後実施する予定の取り組み) ・熱回収及び中間処理を行う施設を所有していないため該当なし		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分及び海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	 t	 t
	（これまでに実施した取り組み） ・埋立処分及び海洋投入処分を行う施設を所有していないため該当なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	—
	自ら埋立処分及び海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	 t	 t
	（今後実施する予定の取り組み） ・埋立処分及び海洋投入処分を行う施設を所有していないため該当なし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和6年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	 2,368.177t	 t
	優良認定業者への処理委託量	 t	 t
	再生利用業者への処理委託量	 2,350.400t	 t
	認定熱回収業者への処理委託量	 t	 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	 t	 t
	（これまでに実施した取り組み） ・中間処理等の処理施設が、法的に問題の無い施設を選択し、適正な処理委託契約を締結する。		

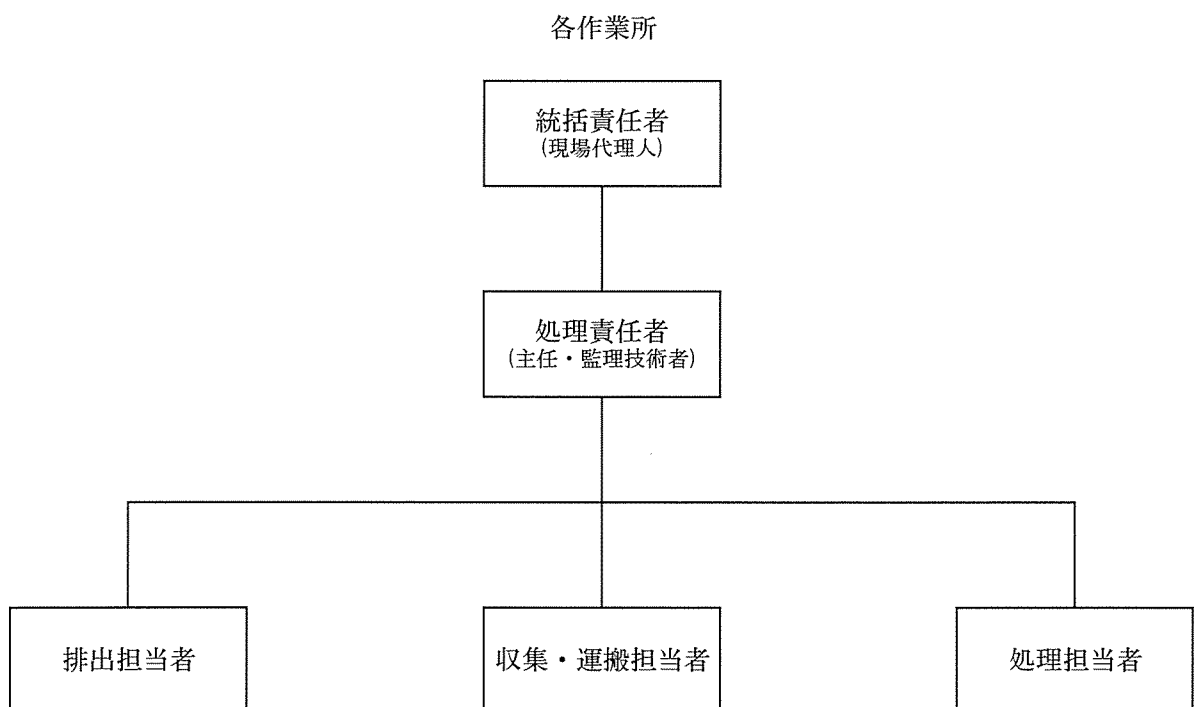
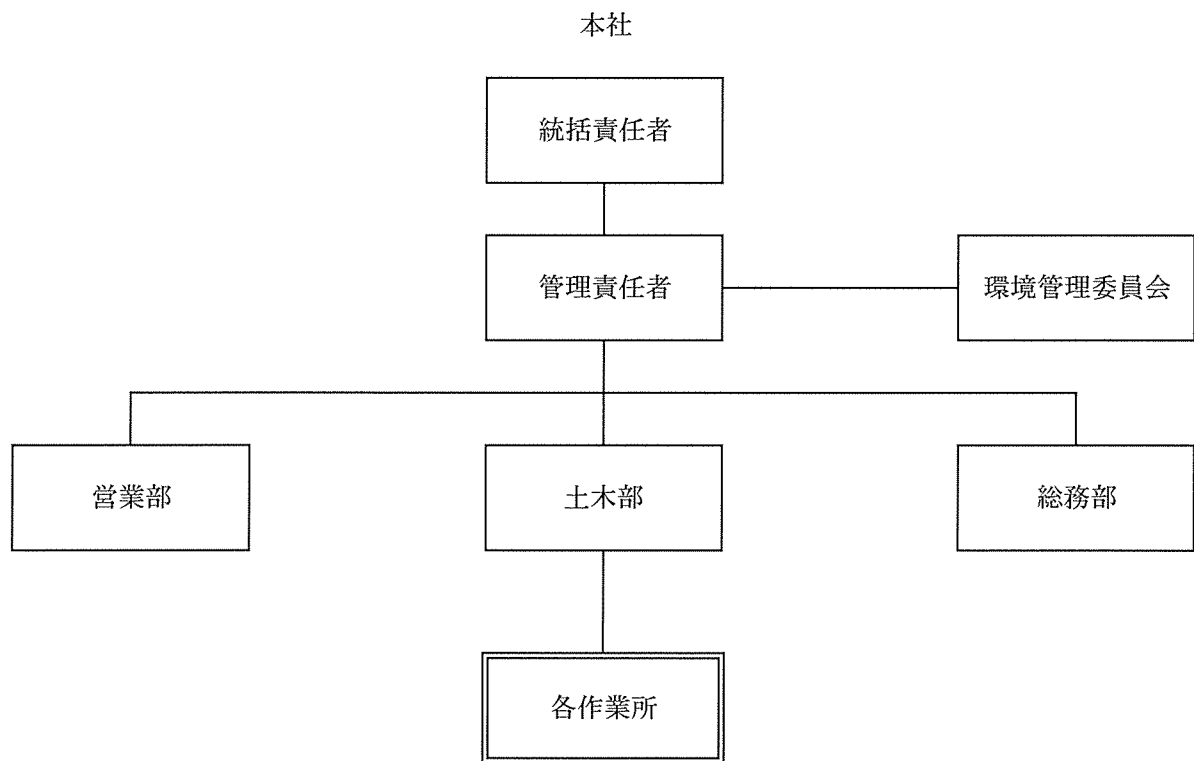
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙－２のとおり	—
	全 処 理 委 託 量	1,657.72t	t
	優良認定業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	1,645.28t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者へ の 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取り組み) ・ 中間処理等の処理施設が、法的に問題の無い施設を選択し、適正な処理委託契約を締結する。 ・ 土木工事における廃棄物は、工事内容等により左右されるので発生量が大きく増減する。よって、前年度の発生量の70%を今年度の目標とする。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が500トン以上1,000トン未満の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

(別紙-1)

(管理体制図)



産業廃棄物の種類別発生、処理状況（令和6年度）

総発生量 2368.177 t
(令和6年度) 100 %

廃棄物の種類	発生源	性状	処理方法(現状の工程) ○：自己処理 △：委託処理	令和6年度 発生量(t) 【構成比】	令和7年度 発生量目標値(t) 【構成比】
汚泥	舗装版切断	泥状	△ 中間脱水	4.466 0.19%	3.126 0.19%
廃アルカリ	舗装版切断	液状	△ 中間脱水	1.31 0.06%	0.918 0.06%
廃プラスチック類	塵芥収集 片付け等	固形	△ 中間破砕	9.39 0.40%	6.57 0.40%
ガラスくず・ コンクリートくず 及び陶磁器くず	塵芥収集 片付け等	固形	△ 中間破砕	0.00 0.00%	0.00 0.00%
金属くず	工事仮設物撤 去・事務所の 片付け等	固形	△ 中間破砕	0.00 0.00%	0.00 0.00%
木くず	立木の伐採等	固形	△ 中間再生	10.80 0.46%	7.56 0.46%
コンクリートがら	構造物取壊し	固形	△ 中間再生	1491.24 62.97%	1043.87 62.97%
アスファルト・コンクリートがら	構造物取壊し	固形	△ 中間再生	848.36 35.82%	593.85 35.82%
がれき類	構造物取壊し	固形	△ 中間再生	0 0.00%	0.00 0.00%
建設混合廃棄物 (安定型)	塵芥収集等	固形	△ 中間破砕	1.46 0.06%	1.02 0.06%
建設混合廃棄物 (管理型)	塵芥収集等	固形	△ 中間破砕	1.15 0.05%	0.81 0.05%
総発生量				2368.177	1657.72
					令和6年度発生量の 約70%